

# 平成 23 年度図書館活動研究大会

## 広報戦略の実践へ！

### 参加者アンケート集計結果

日 時：平成 24 年 2 月 3 日（金）10:30～16:20

場 所：岐阜県図書館研修室

参加者：55 名（アンケート提出者 53 名）

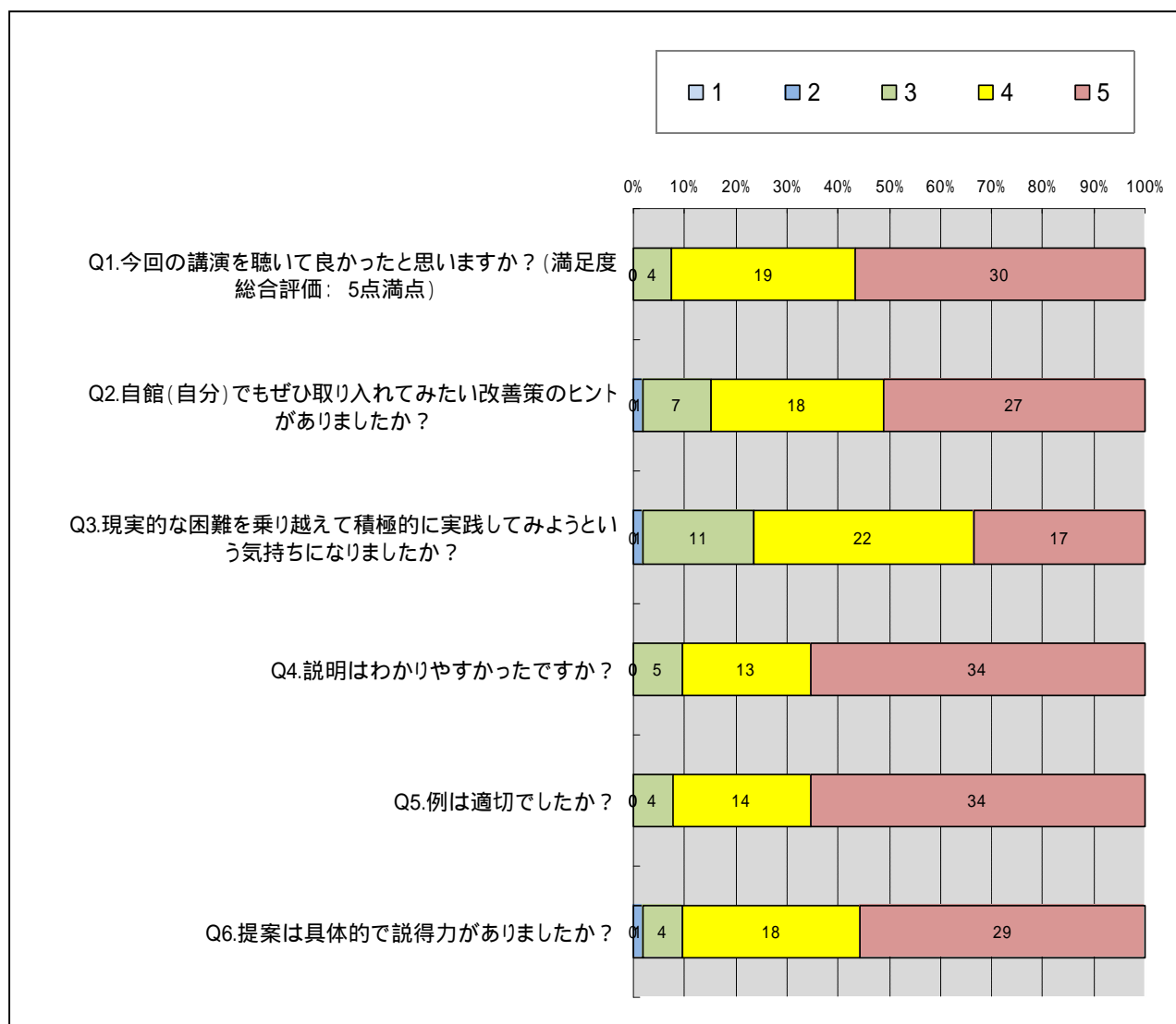
館種別参加者数

大学図書館	公共図書館・図書室	学校図書館
2	38	15

講演「図書館ブランディング「超」入門 - 自己アピールのための広報戦略 - 」

(講師：仁上幸治 氏) について

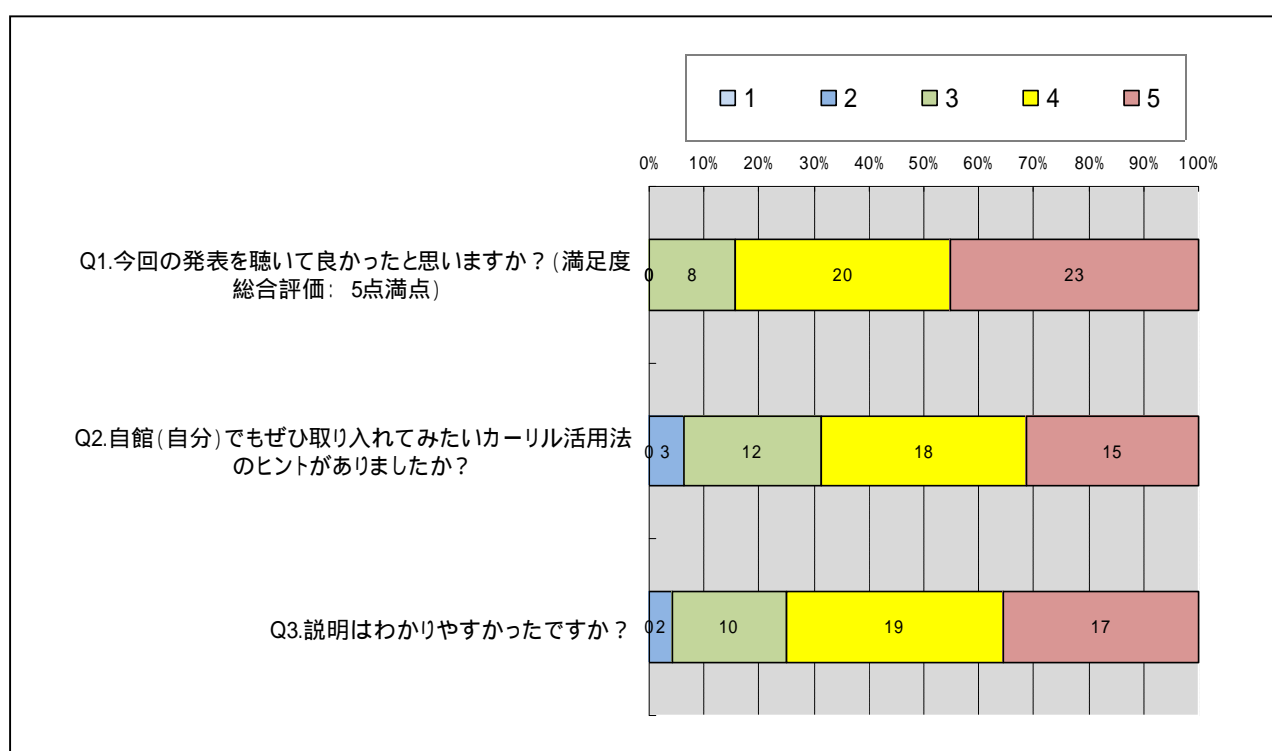
	1.大変 不満足	2.やや 不満足	3.普通	4.やや 満足	5.大変 満足
Q1. 今回の講演を聴いて良かったと思いますか？	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (7.5%)	19 (35.8%)	30 (56.7%)
Q2. 自館(自分)でもぜひ取り入れてみたい改善策のヒントがありましたか？	0 (0.0%)	1 (1.9%)	7 (13.2%)	18 (34.0%)	27 (50.9%)
Q3. 現実的な困難を乗り越えて積極的に実践してみようという気持ちになりましたか？	0 (0.0%)	1 (2.0%)	11 (21.6%)	22 (43.1%)	17 (33.3%)
Q4. 説明はわかりやすかったですか？	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (9.6%)	13 (25.0%)	34 (65.4%)
Q5. 例は適切でしたか？	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (7.7%)	14 (26.9%)	34 (65.4%)
Q6. 提案は具体的で説得力がありましたか？	0 (0.0%)	1 (2.0%)	4 (7.7%)	18 (34.6%)	29 (55.7%)



発表「カーリルを図書館広報に活かす」

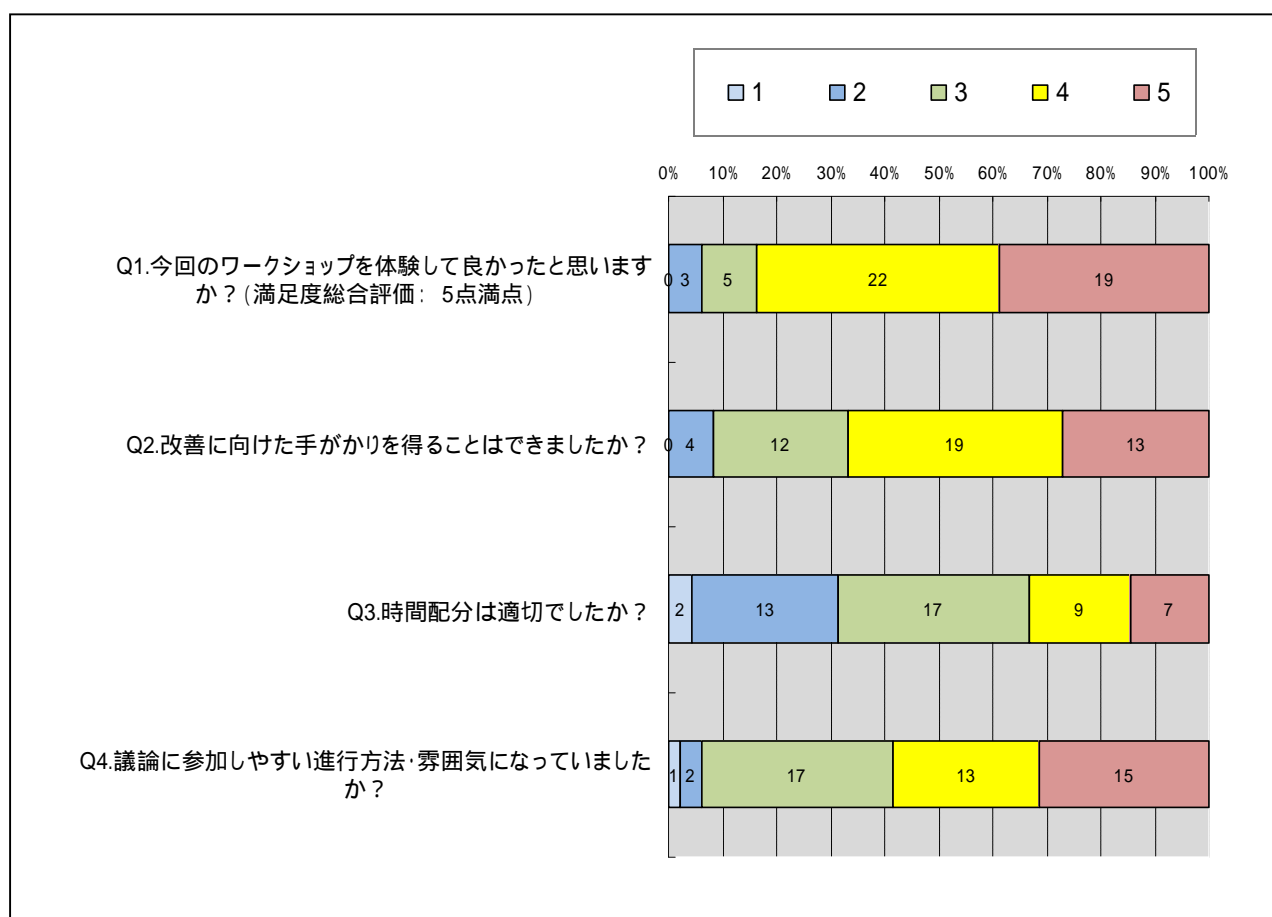
(発表者：吉本龍司 氏、黒田知範 氏) について

	1.大変 不満足	2.やや 不満足	3.普通	4.やや 満足	5.大変 満足
Q1. 今回の発表を聴いて良かったと思いますか？	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (15.7%)	20 (39.2%)	23 (45.1%)
Q2. 自館(自分)でもぜひ取り入れてみたいカーリル活用法のヒントがありましたか？	0 (0.0%)	3 (6.2%)	12 (25.0%)	18 (37.5%)	15 (31.3%)
Q3. 説明はわかりやすかったですか？	0 (0.0%)	2 (4.2%)	10 (20.8%)	19 (39.6%)	17 (35.4%)



ワークショップ「図書館の広報はなぜ伝わらないのか？」について

	1.大変 不満足	2.やや 不満足	3.普通	4.やや 満足	5.大変 満足
Q1. 今回のワークショップを体験して良かったと思いますか？	0 (0.0%)	3 (6.1%)	5 (10.2%)	22 (44.9%)	19 (38.8%)
Q2. 改善に向けた手がかりを得ることはできましたか？	0 (0.0%)	4 (8.3%)	12 (25.0%)	19 (39.6%)	13 (27.1%)
Q3. 時間配分は適切でしたか？	2 (4.2%)	13 (27.1%)	17 (35.4%)	9 (18.8%)	7 (14.5%)
Q4. 議論に参加しやすい進行方法・雰囲気になっていましたか？	1 (2.0%)	2 (4.2%)	17 (35.4%)	13 (27.1%)	15 (31.3%)



## 講演・発表・ワークショップに対する主な意見

講演「図書館ブランディング「超」入門 - 自己アピールのための広報戦略 - 」

- ・視覚に絞り、入門に絞り、わかりやすく次に繋がると思います。
- ・なんとなく、やるべき事が見えてきた気がしました。
- ・わかりやすく、自分もぜひやってみたい！と思わせられました。
- ・楽しかったです。
- ・ライブ感覚で楽しみながら考えさせられました。
- ・帰ったらすぐやってみたい！！でもどこから始めようか...考えてます。
- ・まずやってみるという信念にまちがいはなかったと再確認でした。
- ・もっと勉強していろいろ考えてみたいと思いました。
- ・広報と云う業務について、自分が誤解していた所が修正できました。
- ・カメの先生。内容も大変興味深かったです。
- ・平易な言葉でわかりやすい説明でした。
- ・図書館ブランディングの入口が少しわかりました。先生のホームページを見ようと思います。
- ・現場に帰って実践できそうなヒントがたくさんありました。
- ・自館のアピール方法を考える上で、とても参考になりました。
- ・図書館では軽視されがちな広報戦略についてよくぞ取り挙げて下さいました。
- ・テンポ良くわかりやすかったです。
- ・大変楽しいお話でした。
- ・会場の参加者の意識の差の大きさにおどろきました。これが現実か。
- ・「超」入門ということで、いざやってみよう、とスタートを切れそうな講演でした。
- ・とても、わかりやすい話でした。仁上先生のお人柄がよく伝わりおもしろかった。ぜひ、参考にしたい点はたくさんありました。
- ・忙しかったが、その分、ピンポイントで考えることができた。
- ・すごく勉強になりましたが、もう少しわしく知りたいところもあった。
- ・図書館職員に足りない視点がたくさんあり、他のスタッフにも伝えたいと思いました。
- ・ブランディングやアピールって面白いものなんだな、と思いました。やってみたくまりました。
- ・アピールするには見た目が大事！
- ・とてもわかりやすかった。コンセプトありきのデザイン、ブランディングということは新しい目線でした。(だから今まで企画ダオレだったのか...)
- ・図書館で講演...となると、作家や評論家を招くが、違った人選をしたらどうかという話が印象に残りました。一見図書館と関係のなさそうなイベントを図書館がやったら図書館に来ない人を呼びこめるのではと思いました。
- ・「どんな図書館を作りたいか？」を、しっかり持つておくことは大事。
- ・独自の存在感・3つの視点 持ち帰り、皆で考えて見ます。
- ・実践のみならず、効果ある戦略。
- ・ブランディングは、図書館活動に不可欠。
- ・やっぱりサービス業。
- ・ウリにできるものを、キャッチフレーズと共に考えようと思いました。
- ・学校しか知らなかったので大変良かったです。

・広報というと「図書館だより」とか「市広報」のイメージしかなかったので、グッズなどを考えたこともなかった。おもしろいと思うし、ぜひやってみたい。コンセプトメイクという考え方もしていなかったなので、勉強になった。

・ブランディングをしてみたいと思いました。

発表「カーリルを図書館広報に活かす」

- ・とても自由自在、使いやすく変わっていきそうで...ひょっとして利用者の意見も反映？
- ・がんばれ。
- ・カーリルの画面が魅力的。
- ・カーリルにより近くなった気がしました。
- ・こんな子が作ったのか~。
- ・おもしろそうだと思います。
- ・カーリル開発の舞台裏を伺って、図書館の広報展開の方法の参考になると思いました。
- ・図書館に勤務していますが、カーリルの詳細をさほど知らなかったなので、今回為になりました。
- ・楽しい発表でした。
- ・開発の経過やコンセプトはわかった。
- ・カーリル聞いた事ありましたが利用していなかった。見やすかったので、今後どんどん活用したいと思いました。
- ・様々な工夫の裏にある努力がよくわかりました。
- ・カーリルを詳しく知ることができた。
- ・自由に楽しい発想で良いサイトを作って下さいました。
- ・カーリルが出来るまでの課程がわかりました。
- ・カーリルと一緒に未来を考えたい！
- ・カーリルが出来上がるまでのプロセスは面白かったし参考になりました。
- ・カーリルは聞いたことありますが、実際に見たことはありませんでしたが、ぜひ活用したいと思いません。
- ・やはり、かわいさは大事だと思った。
- ・活用法を知りたかった。
- ・別の世界のことだと思っていたカーリルに共感や親しみがもてました。
- ・カーリルができるまでが聞けたのが、とても興味深かったです。
- ・作る 意見をきく、で良いものが作れるのですね！頑張ります。
- ・大きなサービスだと思っていましたが、作り手の生の声がきけてよかった。
- ・若い人の発想、デザイナー、クリエイターの方の斬新な考えを聞くことができてよかった。
- ・思っていたより、小さなところから始まったことにびっくりした。
- ・やってみよう、やあってみたい、という意欲が一番大切だ！！と思いました。
- ・カーリルの開発、デザインの裏事情。
- ・他館の現状をよく知れて、自館にも採り入れていきたいと思った。
- ・出来あがりまでの話がよかったです。思った事を書き出すのは大事と分かりました。
- ・今迄蔵書検索のみで利用していたので。
- ・デザインがかわいくてよい、アイデアのすばらしさ、豊富さ。

- ・どんな人たちが作られたのか背景がわかってよかったです。
- ・民間の方の切り口が新鮮でした。
- ・あまり使っていなかったが、使ってみたくなった。
- ・ぜひ、使っていきたい。

ワークショップ「図書館の広報はなぜ伝わらないのか？」

- ・アイデアが一杯。
- ・良い点参考になりました。
- ・他館の具体的な悩みなどを聞いてよかったです。
- ・いろいろな館の状況が知れてよかった。
- ・他館の情報がわかった。
- ・おもしろい！
- ・やはりみな共通の悩みがあるなぁと思いました。
- ・事例を検証し、明らかにしておくことで、今後の展開に活かせると思いました。
- ・難しい！
- ・他館の情報を伺えた。
- ・他の館の活動をいろいろ知ることができた。
- ・いろんな図書館の良い所が多く見れてよかった。
- ・様々な図書館の工夫を聞くことができて良かった。
- ・十分に発表できなかった。ワークショップの内容を事前にお教えいただければもう少しまとまった意見を発表できたと思う。
- ・どこの図書館も同じような悩みを抱えているのだと思いました。
- ・学校と公共図書館では、少々、悩み等、ズレがあるのではないのでしょうか？一緒に研修を行なうには、大雑把すぎるのでは？
- ・同意見も多くありました。
- ・少ない時間でしたが、他の図書館と情報交換できて良かったです。
- ・3分区切りの短い発表が、要点をしばった内容の濃い発表になって大変充実したものになりました。
- ・おいつめられると産まれる。(時間のタイトさがよい。)
- ・他館の良い点を吸収、悩みを共有できたことがよかった。
- ・いろんな図書館さんの様子(かかえている問題)がわかって良かった。
- ・館内の掲示物についての案、掲示の仕方。
- ・忙しかったです。要点をかいつまんで発表するのはむずかしかった。
- ・いろいろ参考になりました。
- ・いろいろな館の事例やお悩みがきけてよかったです。
- ・解決策の提案より、問題点の話し合いの方が長くなってしまったのが少し残念でした。
- ・色々な方と話せて良かったです。
- ・時間が足りなかった。
- ・時間が短いことだけが残念。
- ・ハードスケジュールでしたが、意義ある内容でした。

- ・自分の図書館の特徴を生かして、マイナスな所を改善していきたい。
- ・どこの図書館も同じような悩みがあることが分かりました。
- ・若い人のアイデアが新鮮。
- ・もっと時間がほしかった。
- ・おもしろかった！なかなかこういったディベートをする機会がなかったので、いい体験ができたと思います。
- ・活動の場面があり、次は学校で生かしていきます。